

みんながつながる・ふれあう・育みあう 八幡学区 子どもは地域の宝もの

近江八幡市	活動名：八幡幼稚園地域学校協働本部	八幡幼稚園 学校運営協議会： <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
地域学校協働本部概要 ※実施した活動内容全てに■印 開始年度：平成27年度 地域学校協働活動推進員等数：1人 ボランティア登録数：19人 <input type="checkbox"/> 学習支援（授業補助、学力補充等） <input checked="" type="checkbox"/> 図書ボランティア（読書活動支援・図書室環境整備） <input checked="" type="checkbox"/> 学校行事支援 <input checked="" type="checkbox"/> 子どもの安全確保、見守り <input type="checkbox"/> 部活動支援 <input checked="" type="checkbox"/> 学校周辺環境整備 <input type="checkbox"/> 学びによるまちづくり <input type="checkbox"/> 地域人材育成（地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育） <input checked="" type="checkbox"/> 地域行事への参加 <input type="checkbox"/> ボランティア・体験活動 <input type="checkbox"/> 郷土学習 <input checked="" type="checkbox"/> その他 []		

■ 事業を考案する主体（該当するすべてに■印）

学校・園 学校運営協議会 地域学校協働活動推進員等 行政 その他（ ）

■ 学校運営協議会で熟議された内容（地域学校協働活動に関わる内容等）

- 八幡学区の自然、文化、伝統等のよさを地域の方々と子どもや保護者、教師が一緒になって知り、地域を大切に思う子どもの育成をめざすためには、どのような取組を進めていくとよいか。取組や内容、人材確保について協議する。
- 園児数が減少してきているので歯止めをかけるために幼稚園のよさをどのようにPRして園児数の確保に努めるかを協議する。

■ 地域と学校が協働した活動（特徴的な活動）

- 絵本の読み聞かせ
毎月各学年1～2回、絵本の読み聞かせを実施。傷んだ絵本の修繕、絵本の整理。
- 遠足、散歩への引率・地域行事への参加
地域への散歩や遠足、買い物に出かける際の引率や、地域の伝統行事に参加。
- 園庭を開放しての食事会
子どもたちの給食時に合わせて地域の方々にも一緒に食事を楽しめる食事会の実施。
- 芝生や環境整備
園庭の芝生刈りを春から秋まで週1回実施。冬芝の種蒔きや肥料散布も実施。
- 未就園児の託児
研修や保育参観時に保護者が安心して参加できるように未就園児の託児を実施。



【 八幡学区 太鼓まつり準備を見学 】

■ 実施に当たっての工夫

- 絵本の読み聞かせや環境整備、未就園児の託児等、園内のボランティアだけにとどまらず、地域の方や卒園児の保護者にも声をかけ必要性について周知する。また、活動の様子を情報誌や便りを通して保護者や地域へ発信し関心を高めていく。
- 子どもたちが地域や地域の伝統行事に関心や親しみをもてるように地域の方と細やかな連携・協議を重ね、機会を保障するとともに、教師も積極的に地域に出向き学べる機会を多くもつ。
- 子どもたちも地域の方も一緒に楽しみながら園で過ごし、互いに関わり合えるような機会を計画し実施する。

■ 事業の成果

- 地域の方やボランティアの方々と関わることで保育内容が豊かになり、地域の方に親しみや感謝の気持ちをもつことができた。また、自分達が大切に思われていることを実感することができた。
- 地域の方と一緒に散歩に出かけたり、地域の伝統行事に参加したりすることで、地域のよさを知り、興味や関心を高めることができた。子どもたちから「祭りに行きたい」という声や実際に保護者に連れられ参加した姿も見られた。

■ 事業実施上の課題と今後の協働活動の工夫や展望

- 一部のボランティアが重複して活動に参加しているため、活動への興味や関心を高め増員を図り継続していきたい。その為に、ボランティア同士のネットワークを広げたり活動の様子を情報誌や便りに掲載したりしていく。
- 地域や地域の方と関わることでできる活動を保育計画に組み入れ実施できてきたので継続し保育内容を豊かにし、地域に根差した魅力のある園になることをめざしていきたい。

■ その他（学校運営協議会との協働等）

- 八幡学区のよさを活かした活動や事業を計画実施すると共に、八幡幼稚園のよさを地域へPRするための活動や事業の計画実施を学校運営協議会として協働できるように協議を重ねている。



【 地域の特産品をお買い物 】

■ 協働活動推進員（コーディネーター）と協働する学校関係者（該当するすべてに■印）

園長 副園長 地域連携担当教職員 その他（ ）

報告書記入者（ 副園長 ）

保護者・地域の方のキラッとを保育の中に・・・

近江八幡市	活動名：金田幼稚園地域学校協働本部	金田幼稚園 学校運営協議会： <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
地域学校協働本部概要 ※実施した活動内容全てに■印 開始年度：平成23年度 地域学校協働活動推進員等数：1人 ボランティア登録数：20人 <input type="checkbox"/> 学習支援（授業補助、学力補充等） <input checked="" type="checkbox"/> 図書ボランティア（読書活動支援・図書室環境整備） <input checked="" type="checkbox"/> 学校行事支援 <input checked="" type="checkbox"/> 子どもの安全確保、見守り <input type="checkbox"/> 部活動支援 <input type="checkbox"/> 学校周辺環境整備 <input type="checkbox"/> 学びによるまちづくり <input type="checkbox"/> 地域人材育成（地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育） <input checked="" type="checkbox"/> 地域行事への参加 <input type="checkbox"/> ボランティア・体験活動 <input type="checkbox"/> 郷土学習 <input type="checkbox"/> その他 []		

■ 事業を考案する主体（該当するすべてに■印）

学校・園 学校運営協議会 地域学校協働活動推進員等 行政 その他（ ）

■ 学校運営協議会で熟議された内容（地域学校協働活動に関わる内容等）

- ・ 絵本室の整備について。
- ・ 学びに向かう力推進事業の取組の進捗状況について。
- ・ 毎回行う参観やドキュメンテーションから子どもたちの育ちや学びについて見取り、協議を進めている。
- ・ 保護者ニーズや金田学区の課題について、預かり保育実施について。開始に伴いその様子について。

■ 地域と学校が協働した活動（特徴的な活動）

- ・ 週1回の読み聞かせ活動では、子どもたちは、ボランティアの方に親しみを持ち、いろいろな絵本との出会いを楽しみにしている。今年度は、ボランティアの方の協力を得て大規模な絵本室の整備を行った。
- ・ 更生保護女性会の方と連携し、水遊びの着替えの見守りなどの保育補助や、参観時の託児を依頼した。月に1回行う「にっこりタイム」でのふれあいでは、こま回しや折り紙などを教えていただき、子どもたちの楽しい時間となっている。



【 新しくなった絵本室にて 】

■ 実施に当たっての工夫

- ・ 園が必要としている支援にボランティアの方の得意分野を生かしていただけるよう推進委員と連携をしている。
- ・ 園畑や園周辺の除草や葉刈り、芝刈りは、園児には直接見えない時間に活動して下さることが多い。たくさんの地域の方にお世話になっていることを機会あるごとに子どもたちに知らせ、感謝の気持ちをもてるようにしている。

■ 事業の成果

- ・ 地域の方々との温かなふれあいや、地域のよさを感じる事が子どもたちの豊かな経験につながっている。また、ボランティアの方がやりがいを感じ、楽しく積極的に活動して下さっている。



【 にっこりタイム 】

■ 事業実施上の課題と今後の協働活動の工夫や展望

- ・ 地域ボランティアの方の高齢化が課題である。園児の保護者の参加も増えるようにボランティアを募っているが、就労を始められる保護者も多く登録者数は少ない。今後も活動内容を知らせたり、登録を呼びかけたりしてより多くの方に関わってもらえるようにしたい。

■ その他（学校運営協議会との協働等）

- ・ 毎回、子どもの日常の様子を参観していただくことで、子どもたちの様子や成長の過程を確認することができたと共に、保育の中で大事にしたいことなどを考える機会も増え、よりよい子どもの育ちについて協議を深めることができた。
- ・ 幼稚園の応援団として常に見守り支援して下さっていることは、本当にありがたく感じている。

■ 協働活動推進員（コーディネーター）と協働する学校関係者（該当するすべてに■印）

園長 副園長 地域連携担当教職員 その他（ ）

報告書記入者（副園長）

自分が好き・人が好き・馬淵が好きな まぶちっこ ～地域の人とのかかわりをとおして～

近江八幡市	活動名：馬淵こども園地域学校協働本部	馬淵こども園 学校運営協議会： <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
地域学校協働本部概要 ※実施した活動内容全てに■印 開始年度：平成28年度 地域学校協働活動推進員等数：1人 ボランティア登録数：25人 <input type="checkbox"/> 学習支援（授業補助、学力補充等） <input checked="" type="checkbox"/> 図書ボランティア（読書活動支援・図書室環境整備） <input checked="" type="checkbox"/> 学校行事支援 <input checked="" type="checkbox"/> 子どもの安全確保、見守り <input type="checkbox"/> 部活動支援 <input checked="" type="checkbox"/> 学校周辺環境整備 <input type="checkbox"/> 学びによるまちづくり <input type="checkbox"/> 地域人材育成（地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育） <input type="checkbox"/> 地域行事への参加 <input type="checkbox"/> ボランティア・体験活動 <input type="checkbox"/> 郷土学習 <input type="checkbox"/> その他 []		

■ 事業を考案する主体（該当するすべてに■印）

学校・園 学校運営協議会 地域学校協働活動推進員等 行政 その他（ ）

■ 学校運営協議会で熟議された内容（地域学校協働活動に関わる内容等）

・地域に開かれたこども園として、馬淵こども園の良さを地域に発信していくことが大切である。また、地域の人との関わりを温かさを知り地域を大切に思う子どもの育成に向け、活動内容の検討や地域の方の人材について共有していく。

■ 地域と学校が協働した活動（特徴的な活動）

- ・園の環境整備として、春から秋にかけて週1回の芝生管理。
- ・月1回、各クラスにおいて絵本の読み聞かせ。
- ・あいさつ運動への参加。登園時に通用門に立ち、保護者や園児にあいさつ。
- ・保育参観時に保護者が安心してゆったりと参観できるための未就園児の託児。
- ・未就園児の絵本貸し出しのサポートや地域の未就園児の親子がこども園での遊びへの参加の際の見守りや保育補助。
- ・園外保育に出かける際の子どもたちへの交通指導や園外での活動を楽しめるよう見守りや保育補助。
- ・運動会・焼き芋・秋まつり・年末お楽しみ会等、園行事への参加、運営補助。



【 絵本の読み聞かせ 】

■ 実施に当たっての工夫

- ・地域のボランティアの方々の得意分野について把握・連携し、いきいきと活動・協力していただけるよう依頼した。
- ・月1回の絵本の読み聞かせでは、ボランティアの方々にどのクラスにも入ってもらえるよう年間スケジュールを作成し、対象年齢に合った絵本を選定していただいた。
- ・園外保育の引率では、事前に内容や役割分担等について打ち合わせを行い、安全に見守れるようにした。



【 未就園児の遊びの見守り 】

■ 事業の成果

- ・子どもたちの園生活や活動、園環境が充実し、安心安全に過ごすことができた。
- ・ボランティア活動を通して地域の皆さんに子どもたちに親しみをもって関わっていただいたり、園教育・園運営に対する理解をより深めていただいたりすることができた。
- ・実際に子どもとかわかってもらったり、してくださったことを具体的に子どもに見せたり知らせたりすることで地域の方々の顔を覚え、感謝の気持ちを持ったり温かさを知ったりすることができた。

■ 事業実施上の課題と今後の協働活動の工夫や展望

- ・人材の高齢化が進み、地域の方々やボランティアの方々の人材発掘が課題となっている。学校運営協議会へ投げかけたり、地域・保護者にもボランティア登録のおたよりを配布したりして、登録者数を増やしていきたい。また、地域の方の得意なことを生かして、様々な形で子どもたちと関わっていただけるよう、活動内容も考慮していきたい。

■ その他（学校運営協議会との協働等）

- ・こども園の幼児は馬淵小へも就学する。馬淵学区全体の子どもの姿の課題等共有するため、小学校との合同運営協議会を開催している。
- ・協働活動推進員は学校運営協議会の委員を兼ねていただき、行事および日頃の様子を参観する機会が増え、よりよい子どもの育ちについて協議を重ねることができた。今後も地域の方とどのような協働活動ができるのか、推進員と検討を重ねていきたい。

■ 協働活動推進員（コーディネーター）と協働する学校関係者（該当するすべてに■印）

校長 副園長 地域連携担当教職員 その他（ ）

報告書記入者（ 副園長 ）

心わくわく みんなが輝く 北里幼稚園ボランティア活動

近江八幡市	活動名：北里幼稚園地域学校協働本部	北里幼稚園	学校運営協議会： <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
地域学校協働本部概要 ※実施した活動内容全てに■印 開始年度：平成25年度 地域学校協働活動推進員等数：1人 ボランティア登録数：14人 <input type="checkbox"/> 学習支援（授業補助、学力補充等） <input checked="" type="checkbox"/> 図書ボランティア（読書活動支援・図書室環境整備） <input checked="" type="checkbox"/> 学校行事支援 <input checked="" type="checkbox"/> 子どもの安全確保、見守り <input type="checkbox"/> 部活動支援 <input type="checkbox"/> 学校周辺環境整備 <input type="checkbox"/> 学びによるまちづくり <input type="checkbox"/> 地域人材育成（地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育） <input type="checkbox"/> 地域行事への参加 <input checked="" type="checkbox"/> ボランティア・体験活動 <input checked="" type="checkbox"/> 郷土学習 <input type="checkbox"/> その他 []			

■ 事業を考案する主体（該当するすべてに■印）

学校・園 学校運営協議会 地域学校協働活動推進員等 行政 その他（ ）

■ 学校運営協議会で熟議された内容（地域学校協働活動に関わる内容等）

- ・実際に園児や幼稚園の様子を都度協議会委員に参観してもらい、見て感じられる機会をもつことで、園児のさまざまな姿からどんなことを大切にしながら保育を進めているかなど共通理解を図った。
- ・子どもが楽しめる活動、経験させたい遊びなど具体的に出し合い、地域の方の協力をいただき実施していった。
- ・年季の入った園舎の環境面を改善するためどうしたらよいか、ボランティアや地域の団体との繋がりや市との調整について。

■ 地域と学校が協働した活動（特徴的な活動）

- ・隔月で地域と保護者のボランティアの読み聞かせを継続。子どもたちの読書環境がより豊かなものとなっている。
- ・毎年近隣の町の老人会の方にお世話になり、芋苗植えや芋ほりの体験をしている。また、今年は近隣の高齢者との交流会も再開することができ、一緒に遊んだりふれあったりすることができた。
- ・自然豊かな地域のよさを感じられるように、園外保育ではボランティアの協力のもと安全を確保しながら四季折々の身近な自然にふれ、いろいろな風景などを楽しむことができた。地域に出かけたくさんの人と出会い関わって親しみをもつことを今後も大切にしていきたい。



【 さつまいも苗植え 】

■ 実施に当たっての工夫

- ・どんな願いをもってどんな経験をさせたいのか、どのような関わりをしていただきたいかなど丁寧にボランティアの方に伝えて相互の共通理解のもと活動できるように工夫した。



【 クッキングの様子 】

■ 事業の成果

- ・活動がコロナ禍前に戻ったことで地域の方やボランティアさんに関わったり、ふれあったりする機会も増えて『地域で育てる 地域を愛する 地域子ども～北里で遊んで つながり 大好きに～』と掲げているめざす子どもの姿の実現につながっている。

■ 事業実施上の課題と今後の協働活動の工夫や展望

- ・人材の高齢化が進んでいることから、新しいボランティアの獲得や人材発掘が課題となる。
- ・長年継続している活動もあるので、新しい人材を勧誘してボランティア同士の関わりを大切に、活動を繋げていきたい。

■ その他（学校運営協議会との協働等）

- ・園行事やさまざまな活動を園と協議会委員が参観を通して話し合い、よりよいものとなるように協議している。今後も子どもたちを中心に据えて活動がより豊かで楽しいものになるようにしていきたい。

■ 協働活動推進員（コーディネーター）と協働する学校関係者（該当するすべてに■印）

校長 副園長 地域連携担当教職員 その他（ ）

報告書記入者（ 副園長 ）

げんき・いきいき・あづちっこ ～つながる・ひろがる・ボランティアの輪～

近江八幡市	活動名：安土幼稚園地域学校協働本部	安土幼稚園	学校運営協議会： <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
地域学校協働本部概要 ※実施した活動内容全てに■印 開始年度：平成24年度 地域学校協働活動推進員等数：1人 ボランティア登録数：44人 <input type="checkbox"/> 学習支援（授業補助、学力補充等） <input checked="" type="checkbox"/> 図書ボランティア（読書活動支援・図書室環境整備） <input checked="" type="checkbox"/> 学校行事支援 <input checked="" type="checkbox"/> 子どもの安全確保、見守り <input type="checkbox"/> 部活動支援 <input checked="" type="checkbox"/> 学校周辺環境整備 <input type="checkbox"/> 学びによるまちづくり <input type="checkbox"/> 地域人材育成（地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育） <input type="checkbox"/> 地域行事への参加 <input type="checkbox"/> ボランティア・体験活動 <input type="checkbox"/> 郷土学習 <input type="checkbox"/> その他 []			

■ 事業を考案する主体（該当するすべてに■印）

学校・園 学校運営協議会 地域学校協働活動推進員等 行政 その他（ ）

■ 学校運営協議会で熟議された内容（地域学校協働活動に関わる内容等）

- ・令和5年度の経営管理計画について
- ・子どもたちの様子および保護者の現状と課題について
- ・子どもたちの遊びの姿について
- ・地域学校協働本部活動について
- ・目指す子ども像について
- ・園評価について

■ 地域と学校が協働した活動（特徴的な活動）

(1) 環境整備

今年度から新しく「芝生ボランティア」を募集し、園庭の芝刈りを実施した。環境ボランティアの方は樹木の剪定、花壇の花植えなどを実施して下さった。暑さの厳しい中作業して下さる姿に子どもたちも大きな声で感謝の気持ちを伝える姿がみられた。



【 芝刈り 】

(2) 子どもの見守り・保育補助・託児

4月中旬から入園当初の3歳児クラスの保育補助を実施した。地域の方とPTAの方で子どもたちを温かく見守って下さり、初めての園生活となる3歳児の子どもたちが安心して園生活のスタートをきることができた。また、年間を通じて参観日の託児にはたくさんの保護者が協力して下さり互いに交流することができた。



【 託児 】

(3) 図書ボランティア・おはなし会（愛称：まんまるさん）

まんまるさんのおはなし会（絵本の読み聞かせ）を月に1回、各クラスで実施した。季節や年齢に合わせて絵本を選んで下さり、楽しいひとときとなった。図書ボランティアの方々は絵本のカバーつけや、修繕をして下さり絵本環境が充実した。また、絵本室の壁面環境も新しく作成して下さり、より楽しい雰囲気づくりにつながった。

■ 実施に当たっての工夫

地域学校協働活動推進員と連携し、子どもたちにとって楽しい園生活になるようにボランティアの方々にそれぞれ得意な分野で活動していただいた。

■ 事業の成果

参観日に未就園児（弟妹）の託児をおこなうことで、保護者は安心して園児と関わり園生活に触れることができた。託児の希望者は多く、未就園児にとっていろいろなボランティアとのかわりもよい経験となった。また、絵本の読み聞かせや環境整備に関する活動も定着し、ボランティアの方々を身近な存在として意識し、関わりを深めることができた。

■ 事業実施上の課題と今後の協働活動の工夫や展望

様々なボランティア事業に幅広く参加して下さる方もいるが、今一步踏み込めない方も多い。登録してもそれぞれのペースでの参加や自由参加でよいことを伝え、楽しく気軽に活動していつもらえるようアピールしていきたい。

■ その他（学校運営協議会との協働等）

学校運営協議会で、園の取り組みや子どもたちの姿や課題について協議を重ねてきたことで、様々な角度から子どもを見ることができ、「安土の子ども」として同じ目線で見つめ、共有することができた。今後も地域の方々と子どもたちをつなぐために学校運営協議会と連携して事業を進めていきたい。

■ 協働活動推進員（コーディネーター）と協働する学校関係者（該当するすべてに■印）

園長 副園長 地域連携担当教職員 その他（ ）
報告書記入者（副園長）

“にこにこ きらきら 武佐っ子”を育む あったかい支援の力

近江八幡市	活動名：武佐こども園地域学校協働本部	武佐こども園 学校運営協議会： <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
地域学校協働本部概要 ※実施した活動内容全てに■印 開始年度：平成27年度 地域学校協働活動推進員等数：1人 ボランティア登録数：23人 <input type="checkbox"/> 学習支援（授業補助、学力補充等） <input checked="" type="checkbox"/> 図書ボランティア（読書活動支援・図書室環境整備） <input checked="" type="checkbox"/> 学校行事支援 <input checked="" type="checkbox"/> 子どもの安全確保、見守り <input type="checkbox"/> 部活動支援 <input type="checkbox"/> 学校周辺環境整備 <input type="checkbox"/> 学びによるまちづくり <input type="checkbox"/> 地域人材育成（地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育） <input type="checkbox"/> 地域行事への参加 <input type="checkbox"/> ボランティア・体験活動 <input type="checkbox"/> 郷土学習 <input type="checkbox"/> その他 []		

■ 事業を考案する主体（該当するすべてに■印）

学校 地域学校協働活動推進員等 行政 その他（ ）

■ 地域と学校が協働した活動（特徴的な活動）

(1) 保育教材作り（布製おもちゃ作り）

布製おもちゃ作りを中心に、人形の服やクーハン、ままごとのごちそう、避難車のカバーや乳児椅子のカバーなど製作を行う。今年度もボランティアの方々の都合もあり、各家庭で製作してもらった。出来上がったおもちゃを使って一緒に遊んでもらうことはできなかったが、子どもたちの遊ぶ様子を写真で見てもらったり、遊んでいるときのエピソードを口頭で伝えたりしてどんなものがあたらよいのか保育者と相談したりすることでさらに遊びに必要な物を作ってもらうことができた。



【 焼きいも 】

(2) 栽培活動

さつまいもの苗植えや収穫を園児と一緒にする。子ども達が活動しやすいように事前に畑にマルチをかけた後、さつまいもをおこしやすいようにツルを伸ばしたりするなど環境を整えていただいた。

(3) 行事支援

焼きいもや餅つきなどの行事の補助をしていただく。もみ殻への火の広げ方や餅の丸め方など、職員や子どもたちにコツや方法など、長年の経験を元に教えていただくことができた。



【 もちつき 】

(4) あいさつ運動

毎月1日、15日にあいさつ運動を行っている。園長と一緒に通園門前に立って挨拶をしながら園児や保護者を迎える。保護者会役員や5歳児もあいさつ運動に参加することで、他の保護者への啓発につながっている。

■ 実施に当たっての工夫（工夫・対応等）

- ・ボランティア活動を知ってもらうために、活動の様子を保護者向けに通信を発行し、情報発信を行っている。
- ・今年度も、保育教材作りは園で作成してもらうのではなく、各家庭で制作してもらえるよう布や型紙や材料などを用意し依頼する。作成したおもちゃを使って、一緒に遊んでもらうことができないので、材料を家庭に届けに行く機会に子どもの遊びの様子を伝えたり、会えない方には手紙で知らせたりした。

■ 事業の成果

- ・おもちゃ作りでは、職員だけではなかなかできなかったことを協力していただき、保育環境の充実につながり、園児の活動がより広がった。また、子ども達の活動や姿に合わせて必要な物をすぐ作ってくださったことで衛生的で心地よい、温かみを感じられる保育環境になった。
- ・行事支援では、経験豊かな方から方法や知識などを教えていただくことができた。また、保育の中に取り入れることで、子どもたちの興味・関心につながった。

■ 事業実施上の課題と今後の協働活動の工夫や展望

- ・今年度もボランティアの方の都合もあり、作っていただいた布製おもちゃで一緒に遊ぶ『ふれあいタイム』などは実施できなかった。
- ・行事支援については、事前の打ち合わせと当日のスケジュールの確認を行うことで、活動がスムーズに実施できている。今後ともていねいな対応を心掛ける。
- ・地域の方や保護者の方にも、ボランティアに参加してもらえるよう働きかけていきたい。また、ふれあいタイムをどんな形で実施できるか検討していきたい。

■ コーディネーターと協働する学校関係者（該当するすべてに■印）

園長 副園長 地域連携担当教職員 その他（ 主幹保育教諭 ）

報告書記入者（ 主幹保育教諭 ）

は・あ・と・がだいじ～地域の方と心でつながる園教育を～

近江八幡市	活動名：老蘇こども園地域学校協働本部	老蘇こども園 学校運営協議会： <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
地域学校協働本部概要 ※実施した活動内容全てに■印 開始年度：平成 25 年度 地域学校協働活動推進員等数：1人 ボランティア登録数：18人 <input type="checkbox"/> 学習支援（授業補助、学力補充等） <input checked="" type="checkbox"/> 図書ボランティア（読書活動支援・図書室環境整備） <input checked="" type="checkbox"/> 学校行事支援 <input type="checkbox"/> 子どもの安全確保、見守り <input type="checkbox"/> 部活動支援 <input checked="" type="checkbox"/> 学校周辺環境整備 <input type="checkbox"/> 学びによるまちづくり <input type="checkbox"/> 地域人材育成（地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育） <input checked="" type="checkbox"/> 地域行事への参加 <input type="checkbox"/> ボランティア・体験活動 <input type="checkbox"/> 郷土学習 <input type="checkbox"/> その他 []		

■ 事業を考案する主体（該当するすべてに■印）

学校・園 学校運営協議会 地域学校協働活動推進員等 行政 その他（ ）

■ 学校運営協議会で熟議された内容（地域学校協働活動に関わる内容等）

【栽培活動】

さつまいも・パンジーの苗の植え方や育て方を教えてもらい、収穫も一緒に行っている。栽培のアドバイスや収穫までの世話等していただいている。

【クッキング活動】

カレー作りや食育教室のクッキング活動では、ボランティアの方にも参加していただき、道具の使い方等を保育者と共に指導していただいている。

【環境】

運動会に向けて地域のボランティアの方や保護者、職員が協力し合い、園庭整備を行っている。

【絵本】

月1回のペースで絵本ボランティアの方に読み聞かせをしていただいている。

【安全教育】

保護者会役員の方がスクールガード研修を開催し、送迎時の駐車場で交通安全や園児のチャイルドシートの装着等の啓発活動を実施して下さった。

【避難訓練：老蘇コミュニティセンターへ2次避難】

避難訓練時、老蘇コミュニティセンターと連携し、第2次避難場所として避難し、防災についての話を聞いたり、施設見学を行ったりしている。

■ 実施に当たっての工夫

- ・収穫時や年度末にボランティアの方との交流会を実施したり、子ども達からお礼のプレゼントを渡したりして、感謝の気持ちを伝える中で、園に対する理解を得られる機会を設けている。
- ・卒園児の保護者に声をかけ、継続して繋がっていただけるように、ボランティアの登録をお願いしている。



【スクールガード研修の様子】

■ 事業の成果

- ・地域の方との協働活動を実施することで、子ども達も親しみをもち、交流の場を楽しみにする姿が見られる。交流の機会が園運営の理解にも繋がっている。

■ 事業実施上の課題と今後の協働活動の工夫や展望

- ・地域や多方面でも活躍されているボランティアの方が多く、募った日に先約があったり、登録されている方が高齢になられ行事の内容によっては体力的に難しいことがあったりするため、今後新たな人材確保に努める必要がある。



【さつまいもの苗植えの様子】

■ 協働活動推進員（コーディネーター）と協働する学校関係者（該当するすべてに■印）

園長 副園長 地域連携担当教職員 その他（ ）

報告書記入者（副園長）

地域とつながり、愛情あふれる協働活動

近江八幡市	活動名：八幡小学校地域学校協働本部	八幡小学校	学校運営協議会： <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
地域学校協働本部概要 ※実施した活動内容全てに■印 開始年度：平成24年度 地域学校協働活動推進員等数：1人（兼務1人） ボランティア登録数：148人 ■学習支援（授業補助、学力補充等） ■図書ボランティア（読書活動支援・図書室環境整備） ■学校行事支援 ■子どもの安全確保、見守り □部活動支援 ■学校周辺環境整備 □学びによるまちづくり ■地域人材育成（地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育） □地域行事への参加 ■ボランティア・体験活動 ■郷土学習 □その他 []			

■ 事業を考案する主体（該当するすべてに■印）

学校・園 学校運営協議会 地域学校協働活動推進員等 行政 その他（ ）

■ 学校運営協議会で熟議された内容（地域学校協働活動に関わる内容等）

・地域連携のあり方 ・放課後の児童の過ごし方 ・今後の保護者会活動

■ 地域と学校が協働した活動（特徴的な活動）

ボランティアの新規登録者が16名、登録者の合計は148名となった。

- ①環境整備…樹木剪定・枝葉処理、生け花、図書室整理、運動会テント設営・撤収、カーテン作り
- ②本の読み聞かせ…全学年毎週火曜日・朝10分間、布絵本（主任児童委員）
- ③学習支援…ミシン補助、ソーイング補助、八幡堀学習、ヴォーリズ学習、茶の湯体験、九九の間き取り、英語ボランティア、学習補助
- ④児童引率補助…町たんけん、観光ボランティアガイドによる引率
- ⑤クラブ活動支援…琴、茶、生け花、着付け
- ⑥栽培活動支援…夏野菜作り、大根作り、さつまいも作り
- ⑦その他…ベルマーク作業、雑巾づくり、150周年記念事業の準備作業
学生ボランティア（教員志望の学生）の積極的な受け入れ



【 夏野菜づくり 】

■ 実施に当たっての工夫

- ・登録されている人全員になにかできることをしてもらえるように連絡している。
- ・来校時にできる限りコミュニケーションを取り、良好な関係を築き、次につなげている。



【 八幡堀学習 】

■ 事業の成果

- ・多くの方と触れ合いから、児童は愛情を感じ、地域とのつながりを深めている。来校されたボランティアの方に、自らあいさつする児童が増えた。
- ・学習支援やボランティア活動を通じて、教員が地域の方から直接お話を伺うことで、地域理解を深めることができた。
- ・地域で活躍されている様々な職種の方を招いてキャリア学習を行い、仕事の内容や働くことの意義について学ぶことで、児童は大人への憧れや将来への希望を持つことができた。

■ 事業実施上の課題と今後の協働活動の工夫や展望

- ・登録者の高齢化が進み、若い保護者の登録も増えたが、地域の人材も活用していく必要がある。（保護者は自身の仕事もあるため）
- ・ボランティア登録者に一斉配信や個別のやり取り等でSNSを利用し、連絡の効率化と地域学校協働活動推進員等の働き方改革にもつなげたい。

■ その他（学校運営協議会との協働等）

- ・学校運営協議会の開催前に事前協議を行って協議内容を絞り、活発な意見交換ができるようにしている。

■ 協働活動推進員（コーディネーター）と協働する学校関係者（該当するすべてに■印）

校長 教頭 地域連携担当教職員 その他（ 学年主任 ）

報告書記入者（ 教頭 ）

地域とともに育てよう！「ふるさとを愛し 瞳輝く島っ子」を

近江八幡市	活動名： 島小学校地域学校協働本部	島小学校 学校運営協議会： <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
地域学校協働本部概要 開始年度：平成 23 年度 地域学校協働活動推進員等数：1人 ボランティア登録数：360人 <input type="checkbox"/> 学習支援（授業補助、学力補充等） <input checked="" type="checkbox"/> 図書ボランティア（読書活動支援・図書室環境整備） <input checked="" type="checkbox"/> 学校行事支援 <input checked="" type="checkbox"/> 子どもの安全確保、見守り <input type="checkbox"/> 部活動支援 <input checked="" type="checkbox"/> 学校周辺環境整備 <input type="checkbox"/> 学びによるまちづくり <input checked="" type="checkbox"/> 地域人材育成（地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育） <input checked="" type="checkbox"/> 地域行事への参加 <input type="checkbox"/> ボランティア・体験活動 <input checked="" type="checkbox"/> 郷土学習 <input type="checkbox"/> その他 []		

■ 事業を考案する主体（該当するすべてに■印）

- 学 校 学校運営協議会 地域学校協働活動推進員等
- 行 政 その他（島学区まちづくり協議会）

■ 学校運営協議会で熟議された内容（地域学校協働活動にかかわる内容等）

- ・地域で学ぶ、地域の人から学ぶことで郷土愛を育てる。
- ・読書活動の充実、家庭でのほたらきかけ。
- ・子どもが主体になれる防災体験について。



【 5年 わくわく野鳥観察会 】

■ 地域と学校が協働した活動（特徴的な活動）

(1) 郷土学習、食育・環境学習、各教科等の学習支援

- ・ふるさと学習 環境学習 防災学習
- 2年「まちたんけん」（大中見学「農園」「牛舎」など）「権座でおいも」（権座のお話・いも植え・いも掘り）
- 3年「ヨシ・菜の花学習」（ヨシちまき・ヨシの働きとくらし・ヨシ原の保全・ヨシ刈り・よしず・よし笛・菜種栽培、真珠等）
「まちたんけん」（地域の特徴・砂防ダム見学）
- 4年「ヨシ・菜の花学習」（菜種栽培・収穫・油を使ったクッキング 松明づくり・地域伝統の祭りと技を学ぶ）
「大中学習」「地域の祭り」（地域の農業とくらし）
- 5年「ヨシ・菜の花学習」（松明奉納）「たんぼの学習」「しめ縄作り」（SDGs）
「島小わくわく野鳥観察会」（船で渡合・権座・西の湖を巡り、探鳥）

- ・授業支援（昔遊び 昔体験 ミシンボランティア 米づくり等）
- ・エディブル・スクールヤード活動への支援 全学年（栽培 調理 食育 農業体験）
- ・行事支援 島アドベンチャー（全校、白山山ハイキング）・運動会「島っこ体育発表会」



【 全校 島アドベンチャー 】

(2) 見守り活動

- ・保護者による下校時の巡回パトロール「見守り車パトロール」
- ・地域の方による登校、下校時の見守り「みまもり隊」
- ・地域の方、保護者による朝の見守り 「行ってらっしゃい運動」

■ 実施に当たっての工夫

- ・食を伴う活動についても調理の仕方やグループ分けなどを工夫し、消毒を徹底して実施した。
- ・人材育成の観点から、推進員やゲストティーチャー、地域ボランティアの方と担任が打ち合わせをすることを大切に。その後のフォローなどを管理職がするようにした。
- ・地域の方に支援いただいた活動内容や学習の様子を、学校だよりやまちづくり協議会だより、学校ホームページなどで発信し、子どもの様子や感謝の気持ちを伝えるよう努めた。
- ・「防災学習」や「SDGs」の視点での連携について。

■ 事業の成果

- ・まちづくり協議会との連携で、新たな活動や子どもたちの学びにつながる人との出会いを作り出すことができた。
- ・地域の自然や伝統文化について地域の方とともに学ぶことで、大切に受け継いだ思いや生き方にふれることができた。
- ・エディブル・スクールヤードの取組を様々な教科や活動に結び付けることができた。
- ・地域の方の支援を受け本校ならではの学習を大切に、地域の方とのつながりを実感できた。

■ 事業実施上の課題と今後の協働活動の工夫や展望

- ・推進員や地域ボランティアは経験が豊富であり十分な支援をしていただけるが、担任が単元全体を見通し授業を組まなければ学習が深まらない。担任教員が地域に愛着をもち学習を進められるよう、教材研究、地域の方との交流を進めていきたい。
- ・学校運営協議会を活用し、新たな視点からの意見をいただくとともに教育活動の後押しをさらにお願います。

■ その他 島小ホームページ <https://www.fureai-cloud.jp/shima-es/>

■ 協働活動推進員（コーディネーター）と協働する学校関係者（該当するすべてに■印）

- 校 長 教 頭 地域連携担当教員 その他（担任）

報告書記入者（ 教頭 ）

夢が輝き ふるさを尊ぶ 勇気と愛のある 元気な沖島子どもの育成

近江八幡市	活動名： 沖島地域学校協働本部	沖島小学校 学校運営協議会： <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
地域学校協働本部概要 ※実施した活動内容全てに <input checked="" type="checkbox"/> 印 開始年度：平成25年度 地域学校協働活動推進員等数：1人（兼務1人） ボランティア登録数：10人 <input checked="" type="checkbox"/> 学習支援（授業補助、学力補充等） <input checked="" type="checkbox"/> 図書ボランティア（読書活動支援・図書室環境整備） <input checked="" type="checkbox"/> 学校行事支援 <input type="checkbox"/> 子どもの安全確保、見守り <input type="checkbox"/> 部活動支援 <input checked="" type="checkbox"/> 学校周辺環境整備 <input type="checkbox"/> 学びによるまちづくり <input checked="" type="checkbox"/> 地域人材育成（地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育） <input checked="" type="checkbox"/> 地域行事への参加 <input checked="" type="checkbox"/> ボランティア・体験活動 <input checked="" type="checkbox"/> 郷土学習 <input type="checkbox"/> その他 []		

■ 事業を考案する主体（該当するすべてに印）

学校・園 学校運営協議会 地域学校協働活動推進員等 行政 その他（ ）

■ 学校運営協議会で熟議された内容（地域学校協働活動に関わる内容等）

- ・ 地域（島民）とのふれあいの場・機会づくり
- ・ あいさつができる子どもの育成
- ・ 特色ある教育活動について
- ・ 学校の存続に向けて

■ 地域と学校が協働した活動（特徴的な活動）

- ・ 郷土料理体験（ふなずし作り）：地元漁師の方に指導していただいた（3回）。
- ・ 「沖島アイス」販売体験：地元産サツマイモを材料に製造されているアイスクリームの販売体験をした。
- ・ 沖島オリエンテーリング：島内の店舗や施設、寺社を訪問し、ふれあい交流をした。
- ・ 沖島太鼓の演奏：全校児童で取り組み、学校行事や地域行事で披露している。
- ・ 島民運動会、島民文化祭：地域の方々と一緒に活動。“防災グッズリレー”、“防災じゃんけん”といった島民とともに「防災」について意識をたかめるプログラムもある。



【「沖島アイス」販売体験】

■ 実施に当たっての工夫

- ・ 自治会、老人会、まちづくり協議会等と学校との協働の場を設定すること。
- ・ コロナ禍を経て、スリム化できた行事の継続運営。
- ・ 地域産業や伝統文化にふれる機会を設定し、地域への愛着を育むこと。
- ・ 離島振興協議会と沖島町できている人的つながり（県立大ほか）もいかしながら活動の充実をはかる。



【沖島オリエンテーション】

■ 事業の成果

- ・ 地域の方々とふれあいの機会が学習活動に盛り込まれたことで、地域の願いや思いを身近に感じ取れる児童の育成につながった。
- ・ 地域学校協働活動推進員と学校との連携により、地域財（人・場・もの）の適切な活用がすすみ、計画的に学習活動を実施できた。

■ 事業実施上の課題と今後の協働活動の工夫や展望

- ・ 島民の高齢化と島内の過疎化により、地域の魅力ある財が消失してしまわないか心配。それに伴い、学校との連携が希薄化しないよう学校から積極的にふれあいの場や機会を提案する。
- ・ 在籍児童数を確保するため、近江八幡市の通学区域弾力化制度等を利用してもらえる学校情報の発信を工夫すること。

■ その他（学校運営協議会との協働等）

- ・ 学校HPや学校だよりで地域および保護者に学校生活の様子を発信している。
（ <https://www.fureai-cloud.jp/okishima-es/> ）

■ 協働活動推進員（コーディネーター）と協働する学校関係者（該当するすべてに印）

校長 教頭 地域連携担当教職員 その他（ ）

報告書記入者（ 教頭 ）

～『学校と地域の両輪で』地域と協働した学びを～

近江八幡市	活動名：岡山小学校地域学校協働本部	岡山小学校	学校運営協議会： <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
地域学校協働本部概要 ※実施した活動内容全てに■印 開始年度：平成22年度 地域学校協働活動推進員等数：1人 ボランティア登録数：180人 ■学習支援（授業補助、学力補充等） ■図書ボランティア（読書活動支援・図書室環境整備） ■学校行事支援 ■子どもの安全確保、見守り □部活動支援 ■学校周辺環境整備 ■学びによるまちづくり ■地域人材育成（地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育） ■地域行事への参加 ■ボランティア・体験活動 ■郷土学習 □その他 []			

■ 事業を考案する主体（該当するすべてに■印）

学校・園 学校運営協議会 地域学校協働活動推進員等 行政 その他（ ）

■ 学校運営協議会で熟議された内容（地域学校協働活動に関わる内容等）

福祉教育について
グラウンドの芝生管理について
岡山小学校創立150周年の持ち方について

■ 地域と学校が協働した活動（特徴的な活動）

- ・2年生では、学校菜園にて野菜栽培に取り組んだ。地域ボランティア「野菜の先生」の方々に、土作りや苗の植え方・世話の仕方等のコツを教えてもらい、いろいろな野菜を育て収穫した。
- ・3年生では、ふるさと学習の一環として、地域の花火師さんを招いて特色ある産業について学習した。花火模型を使いながらわかりやすく教えていただいたり、安全に十分配慮したうえで、運動場での打ち上げ実演を行ってもらったりした。
- ・5年生では、地域ボランティア「裁縫お助け隊」の方々に、家庭科実習の裁縫の時間に実技指導の補助をしてもらった。個別の指導が行き届き、子どもたちの技能の習得につながった。



【 2年生 ふるさと学習 】

■ 実施に当たっての工夫

- ・できるだけ多くのボランティアの方々に協力いただけるよう、地域学校協働推進員をととして綿密に打ち合わせを行った。
- ・学校だよりを学区全戸に配布したり、学校ホームページで活動の様子を詳しく紹介したりしながら、支援活動等を随時地域に発信している。

■ 事業の成果

- ・地域ボランティアの方々の協力を得ながら、地域ならではの体験学習に取り組むことにより、地域のよさを知ったり、学んだりすることができ、ふるさとに愛着をもつ子どもの育成につなげることができた。
- ・地域ボランティアの方々に礼状を作成することで、社会性や感謝の心を育むことができた。
- ・教員や子どもたちが多くの地域の方々に支えられていることを実感して豊かな教育活動の推進につながっている。

■ 事業実施上の課題と今後の協働活動の工夫や展望

- ・地域学校協働推進員を通じて、地域ボランティアの方々と学校教育目標や学校経営の位置づけを共有しながら、学習活動の目的やめあてを明確にして打ち合わせを行っていく必要がある。
- ・様々な体験活動に地域ボランティアの援助をいただいているが、子どもがお客さんになってしまい、ただ体験をするだけになってしまいがちなので、子どもの主体性が損なわれないような活動にしていける必要がある。
- ・地域のよさや伝統を伝えていただく方の高齢化に伴い、支援していただくことが年々困難になってきている。地域の新しい人材を発掘し、伝統を引き継いでいただく支援者をいかに増やしていくかが課題である。

■ その他（学校運営協議会との協働等）

- ・前述の「地域の新しい人材を発掘し、伝統を引き継いでいただく支援者をいかに増やしていくかが課題」に関わって、学校運営協議会にて熟議をはかることができると思われる。

■ 協働活動推進員（コーディネーター）と協働する学校関係者（該当するすべてに■印）

校長 教頭 地域連携担当教職員 その他（ 学級担任 ）

報告書記入者（ 教頭 ）

ふるさとに誇りを持ち、夢に向かってのびる金田っこ

近江八幡市	活動名：金田学区地域学校協働本部	金田小学校	学校運営協議会： <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
地域学校協働本部概要 ※実施した活動内容全てに■印 開始年度：平成25年度 地域学校協働活動推進員等数：1人 ボランティア登録数：70人 <input checked="" type="checkbox"/> 学習支援（授業補助、学力補充等） <input checked="" type="checkbox"/> 図書ボランティア（読書活動支援・図書室環境整備） <input type="checkbox"/> 学校行事支援 <input checked="" type="checkbox"/> 子どもの安全確保、見守り <input type="checkbox"/> 部活動支援 <input checked="" type="checkbox"/> 学校周辺環境整備 <input type="checkbox"/> 学びによるまちづくり <input type="checkbox"/> 地域人材育成（地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育） <input type="checkbox"/> 地域行事への参加 <input checked="" type="checkbox"/> ボランティア・体験活動 <input checked="" type="checkbox"/> 郷土学習 <input checked="" type="checkbox"/> その他【伝統芸能鑑賞、防災学習】			

■ 事業を考案する主体（該当するすべてに■印）

学校・園 学校運営協議会 地域学校協働活動推進員等 行政 その他（ ）

■ 学校運営協議会で熟議された内容（地域学校協働活動に関わる内容等）

- (1) 防災教育や防災訓練の必要性について意見をいただいた。地域の消防設備見学を1学級ずつ丁寧にさせていただき、3年生全員が消火器を使った放水体験をさせていただいた。
- (2) 地域の施設等見学による子どもたちが学ぶことの大切さを共有し、受け入れや説明、引率でご協力いただいた。

■ 地域と学校が協働した活動（特徴的な活動）

- (1) 1年「生き物探検」「秋みつけ」…地域の自然に触れ、環境を守る活動を学び、人々と触れ合う。
- (2) 2年「地域の自然に親しむ」…地域の自然に触れ、環境を守る活動を学び、人々に学ぶ
- (3) 3年「ホタルを守る活動を知ろう」「朝恋トマト作り」「地域の祭りを調べよう」
「地域の消防設備を知ろう」…地域の伝統や環境を守る活動を学び、人々と触れ合う。
・ホタルが住む川を守る金剛寺町の取組や、浅小井町の朝恋トマト作りに学ぶ。
・地域の火災予防の取組について学ぶ。
・浅小井町の祭り・篠田の火祭りを継承する人たちに学ぶ。
- (4) 4年「福祉学習」「地域の水害を防ぐ」「寺子屋」…住む人にやさしい地域づくりを考え、地域を守る人々と触れ合い学ぶ。
- (5) 5年「田んぼでの米作り」「環境学習」「手縫い名人になろう」…地域の環境について考える。
- (6) 6年「ミシン名人になろう」「平和学習」…地域の平和について考える。



【1年 生き物探検】



【3年 地域の消防設備見学】

■ 実施に当たっての工夫

- ・講話だけでなく、本物・実物に触れたり体験したりできる場づくりに努め、発見や感動のある学習を目指した。
- ・担当学年の主任と地域学校協働活動推進員との連携をとり、打合せ時間を確保した。

■ 事業の成果

- ・地域に愛着と誇りをもって活動されている方々の話を聞いたり、仕事の様子を見学したりすることで、教室ではできない学習、体験ができた。
- ・金田学区にお住まいの講師、ボランティアに来ていただくことで、「人」「技術」「地域」がより身近に感じられるようになった。
- ・地域の安全を守る活動（スクールガード、地域の消防、地域の川の整備等）を日常的に目にしたり、体験したりする中で、防災や安全に対する意識の高まりが見られた。
- ・放課後子ども学習「寺子屋金田」では、コミュニティセンターを学習の場として、学力補充に加えてニュースポーツの体験、防災に関わる学習等も取り入れた工夫あるプログラムで、参加した児童にもその保護者にも大変好評だった。

■ 事業実施上の課題と今後の協働活動の工夫や展望

- ・大規模校で、どの学年も人数が多い。(140名～160名) その分、講師・ボランティアの方も多数お願いする必要がある。人員確保や日程調整が難しい。
- ・講師・ボランティアの方々の高齢化が進んでいる。新たな人材確保が喫緊の課題である。

■ その他（学校運営協議会との協働等）

- ・学期に1度集まっていたいただき、協議会を開催している。地域と学校が協働で活動した取組について紹介し、理解と協力を求めている。協議会では概ね好意的、建設的な意見が聞かれる。
- ・高齢化に伴う新たな講師・ボランティアの確保については、協議会でも懸案事項とされている。

■ 協働活動推進員（コーディネーター）と協働する学校関係者（該当するすべてに■印）

校長 教頭 地域連携担当教員 その他（ ）

報告書記入者（教頭）

共に伸びる ～ 自分から みんなと 最後まで ～

近江八幡市	活動名：桐原小学校地域学校協働本部	桐原小学校 学校運営協議会： <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
地域学校協働本部概要 ※実施した活動内容全てに■印 開始年度：平成 24 年度 地域学校協働活動推進員等数：1人（兼務 1人） ボランティア登録数：120人 ■学習支援（授業補助、学力補充等） ■図書ボランティア（読書活動支援・図書室環境整備） ■学校行事支援 ■子どもの安全確保、見守り □部活動支援 ■学校周辺環境整備 □学びによるまちづくり ■地域人材育成（地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育） ■地域行事への参加 ■ボランティア・体験活動 ■郷土学習 □その他 []		

■ 事業を考案する主体（該当するすべてに■印）

学校・園
 学校運営協議会
 地域学校協働活動推進員等
 行政
 その他（ ）

■ 学校運営協議会で熟議された内容（地域学校協働活動に関わる内容等）

- ・ 第1回（5月） … 学校経営管理計画の承認・今年度の活動計画について
- ・ 第2回（7月） … 子どもの居場所づくりについて
- ・ 第3回（11月） … 学習参観を踏まえた子どもたちの様子について
- ・ 第4回（2月） … 活動報告、学校評価に対しての方針案、来年度の活動について



【 九九の学習ボランティア 】

■ 地域と学校が協働した活動（特徴的な活動）

- ・ 2年 九九の学習ボランティア
子どもたちの九九の学習の支援のために、地域のボランティアの方に依頼し、一人ひとりの九九を聞いていただいた。地域の方に聞いていただき、ほめていただくので、子どもたちにとって大変励みになり、九九の学習がさらに深まった。
- ・ 4年 環境学習：生ごみプロジェクト
地域ボランティアの方々の指導により、給食の残飯をたい肥化したものを、畑に肥料として入れ、栄養たっぷりの大根を育てる取組を行った。1学期はたい肥の作り方、2学期は大根の苗植えと育て方、3学期は収穫の仕方についてのお話をいただき、一緒に作業のお手伝いをしていただいた。お世話になった方々を収穫感謝祭に招待し交流を深めた。
- ・ 4年 地域ふるさと学習：日野川フィールドワーク
日野川の恵みとともに人々の暮らしがあったが、時には洪水等の水害にも見舞われてきた。その中で先人の暮らしやまちづくりにおける知恵も育まれ伝えられてきた。日野川の歴史や先人の知恵などを詳しく知っている地域の方から事前学習をしていただいたり、県の流域政策局の職員の方、地域ボランティアの方とともに、フィールドワークに行ったりしてふるさとへの思いを高める学習に取り組んだ。



【 生ごみプロジェクト～大根づくり～ 】

■ 実施に当たっての工夫

- ・ 学校支援ボランティア（図書ボランティア、家庭科ミシンボランティア、手作り木工パズル等）の活動予定を示したボードを活用することで、教職員全体に活動時期や内容を周知するとともに計画的に進められるよう配慮した。また、地域全体に浸透するように、学校だよりやコミュニティセンターだよりに活動の様子を紹介するとともに、学校支援の輪を広げる取組を進めた。
- ・ 日頃お世話になっているボランティアの皆さんに対し、子どもたちからのメッセージカードや、収穫した大根の収穫感謝祭に招待する取組など、積極的な地域の方との交流を工夫した。

■ 事業の成果

- ・ 地域の方々が授業中や休み時間等を利用して、さまざまなメニューを用意して子どもたちと関わってくださっている。このことは、子どもの居場所づくりや居心地のよい空間づくりにつながっている。また、ボランティアの方々が日常的に学校に来ていただいていることから、子どもたちの様子を複数の目で観察することができ、安全な学校生活を送ることにつながっている。また、子どもたちの学習への励みの一つにもつながっている。
- ・ 図書館の環境整備や、おはなし会の開催などを通して、本を身近に感じ、本に親しむ子どもたちが増えてきている。
- ・ スクールガードの方々の登下校時の見守り活動により、子どもたちは安心して登下校できている。

■ 事業実施上の課題と今後の協働活動の工夫や展望

校外学習や授業での支援活動において、ボランティアさんの存在は大変大きく、学校ボランティアとして定着してきているが、高齢化が進み、後継が見つからず無理をしていただいている面がある。活動を継続していくためにも、学校運営協議会での議論やまちづくり協議会・他の地域団体との連携を図り、新規募集を含めた組織的、継続的な仕組みの見直し・工夫が必要である。

■ 協働活動推進員（コーディネーター）と協働する学校関係者（該当するすべてに■印）

校長
 教頭
 地域連携担当教職員
 その他（各担任）

報告書記入者（教頭）

地域ともに体験学習を・ボランティアさんはできるときにできることを

近江八幡市	活動名：桐原東小学校地域学校協働本部	桐原東小学校 学校運営協議会： <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
地域学校協働本部概要 ※実施した活動内容全てに■印 開始年度：平成24年度 地域学校協働活動推進員等数：1人（兼務1人） ボランティア登録数：約150人 <input checked="" type="checkbox"/> 学習支援（授業補助、学力補充等） <input checked="" type="checkbox"/> 図書ボランティア（読書活動支援・図書室環境整備） <input checked="" type="checkbox"/> 学校行事支援 <input checked="" type="checkbox"/> 子どもの安全確保、見守り <input type="checkbox"/> 部活動支援 <input checked="" type="checkbox"/> 学校周辺環境整備 <input type="checkbox"/> 学びによるまちづくり <input checked="" type="checkbox"/> 地域人材育成（地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育） <input type="checkbox"/> 地域行事への参加 <input type="checkbox"/> ボランティア・体験活動 <input checked="" type="checkbox"/> 郷土学習 <input type="checkbox"/> その他 []		

■ 事業を考案する主体（該当するすべてに■印）

学校・園 学校運営協議会 地域学校協働活動推進員等 行政 その他（ ）

■ 学校運営協議会で熟議された内容（地域学校協働活動に関わる内容等）

- ・学校支援グループとしての活動から気づいた子どもの様子について
- ・地域や登下校中の子どもの様子や通学路の安全について

■ 地域と学校が協働した活動（特徴的な活動）

- （1）校内での学習活動：地域学習や専門分野でのゲストティーチャー、家庭科でのミシン実習補助
 - （2）安全見守り活動：自転車での校外学習のルートづくりと付き添い、危険箇所の安全見守り
 - （3）校外での体験学習：まち探検での施設案内と取組説明、白鳥川での観察観測の指導、たんぼのご活動の補助
 - （4）環境整備活動：図書室の掲示物作成や本修繕の整備と貸出補助、校地内樹木の剪定作業、昇降口清掃、落ち葉そうじ
 - （5）文化活動：朝読書での読み語り、校舎内生けこみ、木工パズル広場
- ※これらの活動を円滑に行うための、毎月の学校支援グループ代表者会（学校運営協議会を含む）の開催。



【2年 地域学習ゲストティーチャー】

■ 実施に当たっての工夫

- ・各学年の学習内容や時期を学校運営協議会グループ会議で、早めにお知らせすることで、より充実した活動になるよう工夫した。

■ 事業の成果

- ・地域ボランティアの方やゲストティーチャーがくり返し来校される機会があることにより、児童や学校との温かい関係性が感じられる。

■ 事業実施上の課題と今後の協働活動の工夫や展望

- ・ボランティアグループの次の世代をいかにつくるか、人材確保についてどのグループについても話題になっている。
- ・子どもや学校教育に地域の方が関わっていることが、保護者にも実感してもらえらるはたらきかけが必要。こうしたことが次のボランティア人材確保にもつながるのではないか。
- ・子どもが地域で活動する機会（学校と地域の双方向の関わり）をいかにつくっていくか。



【5年 白鳥川での学習指導】

■ その他

- ・本校が従来から実施してきた学校支援グループ代表者会と学校運営協議会の持ち方の工夫をし、学校や地域が目指す子どもたちの成長をめざすための熟議を重ねていく。
- ・すべての教職員が学校運営協議会との協働について、日々の教育活動との関係性や仕組みを理解する機会をもつ。

■ 協働活動推進員（コーディネーター）と協働する学校関係者（該当するすべてに■印）

校長 教頭 地域連携担当教職員 その他（各教員）

報告書記入者（教頭）

地域でともに育てる馬淵の子

近江八幡市	活動名：馬淵小学校地域学校協働本部	馬淵小学校	学校運営協議会： <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
地域学校協働本部概要 ※実施した活動内容全てに■印 開始年度：平成24年度 地域学校協働活動推進員等数：1人 ボランティア登録数：26人 ■学習支援（授業補助、学力補充等） ■図書ボランティア（読書活動支援・図書室環境整備） ■学校行事支援 ■子どもの安全確保、見守り □部活動支援 ■学校周辺環境整備 □学びによるまちづくり □地域人材育成（地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育） □地域行事への参加 ■ボランティア・体験活動 ■郷土学習 □その他 []			

■ 事業を考案する主体（該当するすべてに■印）

■学校・園 ■学校運営協議会 ■地域学校協働活動推進員等 □行政 □その他（ ）

■ 学校運営協議会で熟議された内容（地域学校協働活動に関わる内容等）

- ・新たな地域人材のアテンド
（近江八幡市消防団馬淵分団長、地域の祭事の研究者など）
- ・コロナ禍以前の学習の再開
（馬淵コミュニティセンター見学）

■ 地域と学校が協働した活動（特徴的な活動）

- ・農業、栽培に関する活動…稲作体験（田植え、稲刈り）、ヘチマ栽培、野菜栽培
- ・歴史、伝統文化に関する活動…地域の祭事、古墳・資料館見学、茶道体験
- ・平和学習に関する学習…戦争体験者の講話（馬淵への疎開、大阪大空襲）
- ・地域防災に関する学習…消防団についての講話（ポンプ車見学）、河川（水害）学習、コミュニティセンター見学
- ・その他 絵本の読み聞かせ活動



【3年社会科 消防団について】

■ 実施に当たっての工夫

- ・昨年度までは新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、地域ボランティアの授業参加は、児童と一定の距離が確保できる講話形式のみ。また現地に出かけて屋外で話を聞く形式を主体となっていたが、制限なしで各活動を実施することにした。
- ・授業者と地域ボランティアとのマッチングや日時の調整について、推進員があらかじめ十分に授業者の要望を聞き取って仲立ちした。具体的な活動内容や支援方法などについて、授業者、推進員、支援者が事前の打合せを行って決定した。



【6年社会科 戦争体験者の講話】

■ 事業の成果

- ・推進員の役割に対する教員の理解、事業についての地域への周知が進んだことにより、様々な分野で授業のねらいに応じた効果の高い支援が得られるようになった。推進員や地域ボランティアとの協働によって、教員の地域理解が深まり地域の素材を教材化する力が高まった。
- ・継続した活動を行うことによって、児童は顔馴染みとなった支援者の来校を楽しみにするようになり、支援者は児童への理解が深まって効果的に支援を行え、継続することにやりがいを感じるという好循環が生まれている。

■ 事業実施上の課題と今後の協働活動の工夫や展望

- ・地域との連携、協働の効果を高めるには、事前の授業者と地域ボランティアとの打合せが重要である。しかし、推進員の勤務できる時間が限られているため、調整が難しい。
- ・これまで参加していただいていたボランティアの方の年齢が高くなり、昨年までお願いしていた方が辞退されることが増えている。新たな地域人材の発掘が急務である。

■ その他（学校運営協議会との協働等）

- ・推進員が学校運営協議会に出席し、委員へ活動についての理解を深めた。学校運営協議会での情報交換によって、新たな地域の素材を生かした活動や、新たな地域人材の発掘につながり、子どもたちの学びが深まった。

■ 協働活動推進員（コーディネーター）と協働する学校関係者（該当するすべてに■印）

■校長 ■教頭 ■地域連携担当教職員 ■その他（各担任）

報告書記入者（教頭）

未来のきたさと（喜多郷土）をつくる 子どもを育むコミュニティ・スクール

近江八幡市	活動名：北里地域学校協働本部	北里小学校	学校運営協議会： <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
<p>地域学校協働本部概要 ※実施した活動内容全てに■印 開始年度：平成21年度 地域学校協働活動推進員等数：1人（兼務1人） ボランティア登録数：110人 <input type="checkbox"/>学習支援（授業補助、学力補充等） <input checked="" type="checkbox"/>図書ボランティア（読書活動支援・図書室環境整備） <input checked="" type="checkbox"/>学校行事支援 <input checked="" type="checkbox"/>子どもの安全確保、見守り <input type="checkbox"/>部活動支援 <input type="checkbox"/>学校周辺環境整備 <input type="checkbox"/>学びによるまちづくり <input checked="" type="checkbox"/>地域人材育成（地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育） <input checked="" type="checkbox"/>地域行事への参加 <input checked="" type="checkbox"/>ボランティア・体験活動 <input checked="" type="checkbox"/>郷土学習 <input type="checkbox"/>その他 []</p>			

■ 事業を考案する主体（該当するすべてに■印）

学校・園 学校運営協議会 地域学校協働活動推進員等 行政 その他（ ）

- 学校運営協議会で熟議された内容（地域学校協働活動に関わる内容等）
- ・ボランティアの在り方について
 - ・登下校時の児童の安全確保について
 - ・「わたしたちのきたさと」作成について
 - ・子どもの学力について
 - ・ふるさと学習について



■ 地域と学校が協働した活動（特徴的な活動）

(1) メダカシンポジウム

メダカの学校小田分校の方と一緒に田んぼでの田植え、観察・肥料まき・草刈り・稲刈り・脱穀・糶摺り・精米という米作りの一連の作業を体験させていただいた。11月10日【メダカシンポジウム】日に実施したシンポジウムでは、『田んぼの向こうに世界が見える』というテーマで田んぼの学校で体験したことや『米作り』や『田んぼにいる生き物』など5年生児童が総合的な学習の時間に調べた環境学習の内容を壁新聞にまとめ、ポスターセッションの形式で発表した。また、メダカの学校の方からは、これまでの活動のパネル展示をしていただき、パネル数は100枚程度になった。5年生の児童や保護者を対象に環境に関わる講演をしていただいた。

(2) 子ども安全地区懇談会

北里学区青少年育成会が主催し、「地域で子どもを守るために」をテーマとして、民生委員や自治会、まちづくり協議会、駐在所、幼小中のPTAが一堂に会して子どもの安全について話し合う地区懇談会で、平成12年から続いている。一昨年度から新型コロナウイルス感染症の影響で、学校が行う地区懇談会を兼ねて合同で行ったが、コロナ禍が収まった今年度も同じ形式で行った。駐在所から地域の現状、幼小中から各校園の様子を伝え、その後、各方面から意見をいただく。この懇談会は、あらゆる方面から貴重な意見を聞くことができ、北里学区民が一体となって子どもの安全について考える良い機会になっている。この懇談会で出た意見は学校に持ち帰り、学校運営に役立っている。

■ 実施に当たっての工夫

- ・メダカシンポジウムでは、ひびきあい活動（親子活動）を共に開催し、カレー作りも行った。材料の量や時間などについても地域学校協働活動推進委員を交えて活動を進めることができた。田んぼの学校を進めていただいた皆さんにも児童や保護者とともに楽しい場を共有していただいた。
- ・子ども安全地区懇談会では保護者や学校だけでなく、青少年育成会の呼びかけのもと、地域の自治会担当者やスクールガードさんなど児童や園児、生徒に関係する方々と情報交換をすることができた。

■ 事業の成果

- ・事業開始から13年になる。本活動が年間計画の中に位置づけられていることにより、かなり定着している。毎年、実施時期、活動内容について、地域学校協働活動推進員と一緒に各学年の担任が見直しをすることにより、より精査しながら本事業が実施できている。

■ 事業実施上の課題と今後の協働活動の工夫や展望

- ・平成21年度の本事業を開始してから、同じ地域学校協働活動推進員が一人で地域と学校を繋ぐ役割を担ってきているが、今後後継者の育成や選任に困難さがある。
- ・地域学校協働活動推進員が地域と学校をつなぐ重要な役割を担っており、学校の思いを地域に、地域の思いを学校に伝えることで双方向にメリットがあるような活動を実施するように心がけている。

■ その他（学校運営協議会との協働等）

- ・平成31年度からコミュニティ・スクールとして学校運営協議会を立ち上げた。5年目になり、より実効的なコミュニティ・スクールの在り方を考え、協議会での協議内容も検討している。北里の地域を教材化するため、昨年より「わたしたちのきたさと」作りに向けて話し合いを進めている。3年生担任に誰がなっても、毎年同じレベルの地域学習ができるように教材化作りを始めたが、今年度は「地域を守る人々」というテーマで進めてきた。児童にとって豊かな情報となる教材づくりに努めている。今後も、地域の担い手として活躍できる子どもの育成を目指して、地域ぐるみの活動を考えていく。

■ 協働活動推進員（コーディネーター）と協働する学校関係者（該当するすべてに■印）

校長 教頭 地域連携担当教職員 その他（ ） 報告書記入者（教頭）

人との出会いを通して、武佐を愛し、未来のむさを担う人材子どもの育成

近江八幡市	活動名：武佐小学校地域学校協働本部	武佐小学校	学校運営協議会： <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
地域学校協働本部概要 開始年度：平成21年度 地域学校協働活動推進員等数：1人 ボランティア登録数：73人 <input type="checkbox"/> 学習支援（授業補助、学力補充等） <input checked="" type="checkbox"/> 図書ボランティア（読書活動支援・図書室環境整備） <input checked="" type="checkbox"/> 学校行事支援 <input checked="" type="checkbox"/> 子どもの安全確保、見守り <input type="checkbox"/> 部活動支援 <input checked="" type="checkbox"/> 学校周辺環境整備 <input type="checkbox"/> 学びによるまちづくり <input checked="" type="checkbox"/> 地域人材育成（地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育） <input type="checkbox"/> 地域行事への参加 <input checked="" type="checkbox"/> ボランティア・体験活動 <input checked="" type="checkbox"/> 郷土学習 <input type="checkbox"/> その他 []			

- 事業を考案する主体（該当するすべてに■印）
学校・園 学校運営協議会 地域学校協働活動推進員等 行政 その他（ ）

■ 学校運営協議会で熟議された内容（地域学校協働活動に関わる内容等）

- ・保護者と学校の連携を強くするための方策
- ・学校の教育活動を地域や保護者に周知するための方策
- ・地域や保護者の声を生かした学校行事のあり方
- ・児童の安全確保のために学校と地域が協力してできること



【フードマイレージの学習】

■ 地域と学校が協働した活動（特徴的な活動）

- ・地域の産業に携わる方々から学ぶ
 武佐学区の伝統産業である食肉加工業や農業をはじめとして、様々な産業に携わる方々からお話を聞かせていただき、仕事に対する思いとともに、地域を愛する気持ちや未来を担う児童に期待することなどを話していただいた。
- ・海外の様々な文化から学ぶ
 本校にも様々な国籍を持つ児童が在籍しているため、その保護者などから、海外の文化についてゲストティーチャーを招いてお話を聞かせていただいた。
- ・防災教育との連携
 学校安全総合支援事業を進める中で、地域の防災にかかわる方々を招き、体験的に進めた。



【空き缶太鼓づくり】

■ 実施に当たっての工夫

- ・ボランティアの人材確保については、地域学校協働活動推進員を中心に進めたが、より多くの人材を集めるため、学校運営協議会委員にも声掛けを依頼した。
- ・ゲストティーチャーを招いた学習や地域ボランティアの支援による体験活動の実施の際には、児童の主体性を生かした学習や体験活動になるように、入念に打ち合わせを行った。

■ 事業の成果

- ・ゲストティーチャーの経験談や思いを直接聞かせていただくことで、児童が自分の生活を振り返り、これからの生き方を考えるきっかけとなった。
- ・武佐学区の産業や人材の魅力を発見できただけでなく、ふるさとを大切に思う心を育むことができた。児童の自尊感情を醸成することや地域人材の生きがいつくりにもつながっている。

■ 事業実施上の課題と今後の協働活動の工夫や展望

- ・ボランティアの高齢化が年々進んでいる。保護者世代のボランティアの発掘と組織の拡大が必要である。
- ・保護者と学校のかかわりが希薄にありつつある。「できることをできるときに」をモットーにして、保護者の支援を得るための取組が必要である。
- ・地域や保護者にむけて、ボランティアの活動や学校が必要とする支援を周知する方法を工夫する必要がある。

■ その他（学校運営協議会との協働等）

- ・学校運営協議会の委員には地域学校協働活動推進員も含まれているので、学校が必要な支援は直接伝えることができている。また、武佐学区まちづくり協議会の事務局員も入っているため、地域住民への協力依頼もしやすい。
- ・今年度から、保護者代表にも学校運営協議会の委員として参画していただき、新たな視点を加えた熟議ができるようになった。

■ 協働活動推進員（コーディネーター）と協働する学校関係者（該当するすべてに■印）

- 校長 教頭 地域連携担当教職員 その他（ ）

報告書記入者（教頭）

学校・保護者・地域が連携し、子どもを見守り育てる支援活動

近江八幡市	活動名：安土小学校地域学校協働本部	安土小学校 学校運営協議会： <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
地域学校協働本部概要 ※実施した活動内容全てに■印 開始年度：平成25年度 地域学校協働活動推進員等数：1人（兼務1人） ボランティア登録数：227人 ■学習支援（授業補助、学力補充等） ■図書ボランティア（読書活動支援・図書室環境整備） ■学校行事支援 ■子どもの安全確保、見守り □部活動支援 □学校周辺環境整備 □学びによるまちづくり ■地域人材育成（地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育） □地域行事への参加 ■ボランティア・体験活動 ■郷土学習 □その他 []		

■ 事業を考案する主体（該当するすべてに■印）

学校・園
 学校運営協議会
 地域学校協働活動推進員等
 行政
 その他（ ）

■ 学校運営協議会で熟議された内容（地域学校協働活動に関わる内容等）

以前から学習活動等へのボランティアをお願いしていたが、令和5年度より、「安土っ子応援隊」として、保護者・地域の方にボランティア登録を募り、学校生活や授業補助等のボランティアを依頼する仕組みを整えた。その項目について協議を行った。

ボランティア部会

- ①図書部 朝学習での本の読み聞かせ、学校図書館の環境整備、読書に親しむためのイベントの企画運営
- ②校内活動部 裁縫、ミシン学習の補助、図画工作科の学習でのカッターや彫刻刀の使用の補助、水泳学習時の安全見守り
- ③地域学習部 低・中学年の地域学習時の見守り、登下校の見守り（通年）、あいさつ運動
- ④環境部 庭木の剪定、除草作業

■ 地域と学校が協働した活動（特徴的な活動）

- 3年生 安全・防災学習（地域の消防団による災害対策の学習と放水消火訓練）
- 3年生 ふるさと体験学習（信長ねぎの収穫、近江牛の飼育など地域の特産物について）
- 4年生 西の湖学習（ヨシ灯り作品づくりや和船に乗り、西の湖に触れ環境について考える）
- 5年生 米作り体験（米作りの一連の活動について学ぶ）
- 6年生 キャリア教育（看護師、弁護士等の職業に就いている方々の話を聞いて自分の生き方を考える）



【 5年生 米作り体験（収穫） 】

■ 実施に当たっての工夫

- ・ボランティア名簿を作成し、必要な人材を探しやすくしている。
- ・日常的に地域学校協働活動推進員と学校が密に連携し、学年との打ち合わせを設定し、学習に必要な人材の確保に努めている。
- ・ボランティアとの連絡は、主に地域学校協働活動推進員が行っている。
- ・読書ボランティア「によきによき」さん、安土っ子応援隊の図書部、図書担当教員、学校司書、地域学校協働活動推進員が日常的に情報交換し、子どもの読書推進活動を進めている。

■ 事業の成果

- ・ボランティアの協力のおかげで、地域の自然、文化、特産等を生かした安土ならではのふるさと体験学習を深めることができている。そして、ふるさとに愛着を持ち、ふるさとを大切に思う子どもの育成につながっている。
- ・地域学校協働活動推進員が、担任とボランティア、それぞれと連携することにより、必要な時に必要な人材の確保ができ、多くの学習の中でボランティアに協力をいただきながら充実したふるさと学習をすすめていくことができた。



【 朝読書 読み聞かせ 】

■ 事業実施上の課題と今後の協働活動の工夫や展望

- ・ボランティアの登録人数を増やし、学校・地域・保護者がより深くかかわる組織づくりをすすめていく。
- ・地域のよさや伝統の技などを伝えていただく方や見守りの方々が高齢化し、今後支援者が減っていくことが考えられる。新しい人材の発掘・登録が必要である。

■ 協働活動推進員（コーディネーター）と協働する学校関係者（該当するすべてに■印）

校長
 教頭
 地域連携担当教職員
 その他（ ）

報告書記入者（ 教頭 ）

老蘇の自然・文化・人に支えられた老蘇っ子の「ふるさと学習」

近江八幡市	活動名：老蘇地域学校協働本部	老蘇小学校	学校運営協議会： <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
地域学校協働本部概要 ※実施した活動内容全てに■印 開始年度：平成23年度 地域学校協働活動推進員等数：1人 ボランティア登録数：60人 <input type="checkbox"/> 学習支援（授業補助、学力補充等） <input checked="" type="checkbox"/> 図書ボランティア（読書活動支援・図書室環境整備） <input checked="" type="checkbox"/> 学校行事支援 <input checked="" type="checkbox"/> 子どもの安全確保、見守り <input type="checkbox"/> 部活動支援 <input checked="" type="checkbox"/> 学校周辺環境整備 <input type="checkbox"/> 学びによるまちづくり <input checked="" type="checkbox"/> 地域人材育成（地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育） <input checked="" type="checkbox"/> 地域行事への参加 <input checked="" type="checkbox"/> ボランティア・体験活動 <input checked="" type="checkbox"/> 郷土学習 <input type="checkbox"/> その他 []			

■ 事業を考案する主体（該当するすべてに■印）

学校・園 学校運営協議会 地域学校協働活動推進員等 行政 その他（ ）

■ 学校運営協議会で熟議された内容

- ・ふるさと学習をはじめとする学校教育活動、及び地域による学校支援について
- ・老蘇学区における福祉的課題に対し、SDGs子ども見守り隊として、子どもたちが社会的な繋がりを果たすことについて

■ 地域と学校が協働した活動（特徴的な活動）

(1) 豊かな自然から学ぶ

(全学年)・ピオトープでの体験活動

(4年)・西の湖学習・ヨシ灯り作品作り (5年)・ニゴロブナの放流

(特支)・畑でとれた夏野菜でピザパーティーをしよう

(2) 歴史・伝統・文化から学ぶ

(1年)・神社の見学 (2年)・神社の見学・たけのご掘り

(3年)・昔の暮らしについての聞き取り

(4年)・教林坊・杉原邸・奥石神社の見学・ふるさとの偉人についての聞き取り

(5年)・シーサー作り・伝統料理作り

(6年)・お茶碗製作・お茶たて体験・和太鼓体験・信長時代の文化・演奏会・神社・寺・安土城考古博物館の見学

(3) 地域の働く人から学ぶ

(2年)・野菜の栽培・ハチミツ採取体験・まち探検・郵便局の見学

(3年)・ネギ農家見学・イチゴ農家見学・れんこん掘り・消防署の見学・営農農家の見学

(4年)・防災学習・ゴミ処理についての学習

(5年)・自動車部品工場見学・JA営農見学・米作り学習 (6年)・木箱作り・コミセンの役割

(全校)・登下校の見守り・絵本の読み聞かせ・芝生管理委員会



【 たけのご掘り 】

■ 実施に当たっての工夫

- ・教科の学習や領域とも関連付けながら活動を進められるように、カリキュラムを構成している。
- ・以前から引き続き行われている活動が多いが、活動の意義やねらいを明確にして実施した。
- ・活動の様子を「地域支援だより」「学校だより」やホームページ上で発信し、指導者や協力者にお礼の気持ちを伝えるとともに、地域や保護者に対して、活動内容や活動意図への理解が進むようにしている。

■ 事業の成果

- ・自然や歴史、文化、人などについて知ることで、“老蘇”のよさを再発見し、そこに住んでいる自分にも愛着と誇りが持てるようになった。
- ・多くの人と出会い触れ合うことや様々な体験をすることで、いろいろな考え方、生き方に出会うことができ、将来の夢などについて考える機会が増え、夢や展望を持つ児童が増えた。

■ 事業実施上の課題と今後の協働活動の工夫や展望

- ・ふるさと学習を通して「個別最適な学び」「協働的な学び」を実現するためには、課題作りの段階で個々の課題意識を高めること、児童の主体性を生かす工夫が必要であり、協働による課題解決の場を設定し、考えたこと調べたことを自らの言葉で表現する力を付けられるようにしていく。
- ・子どもたちの活動が単発で終わらず、それぞれ効果的に単元全体の構成を熟考して実施する必要がある。
- ・快く受け入れてくださる地域の方や事業者の方も多く、今後も協働活動の維持、また精選、拡大を検討していく。

■ その他（学校運営協議会との協働等）

- ・地域の文化、歴史、人材など地域の思いを反映した教育ができ、また、学校が要望する支援を地域からスムーズに受けられる。

■ 協働活動推進員（コーディネーター）と協働する学校関係者（該当するすべてに■印）

校長 教頭 地域連携担当教員 その他（教務主任、各担任）

報告書記入者（教頭）

「地域が学校づくりに参画する学校」をめざして

近江八幡市	活動名：八幡中学校地域学校協働本部	八幡中学校	学校運営協議会： <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
地域学校協働本部概要 ※実施した活動内容全てに■印 開始年度：平成25年度 地域学校協働活動推進員等数：1人 ボランティア登録数：60人 <input type="checkbox"/> 学習支援（授業補助、学力補充等） <input checked="" type="checkbox"/> 図書ボランティア（読書活動支援・図書室環境整備） <input checked="" type="checkbox"/> 学校行事支援 <input checked="" type="checkbox"/> 子どもの安全確保、見守り <input checked="" type="checkbox"/> 部活動支援 <input type="checkbox"/> 学校周辺環境整備 <input type="checkbox"/> 学びによるまちづくり <input checked="" type="checkbox"/> 地域人材育成（地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育） <input checked="" type="checkbox"/> 地域行事への参加 <input type="checkbox"/> ボランティア・体験活動 <input checked="" type="checkbox"/> 郷土学習 <input type="checkbox"/> その他 []			

■ 事業を考案する主体（該当するすべてに■印）

学校・園 学校運営協議会 地域学校協働活動推進員等 行政 その他（ ）

■ 学校運営協議会で熟議された内容（地域学校協働活動に関わる内容等）

- ・令和5年度学校経営方針
- ・地域学校協働本部事業の目的と事業内容
- ・登下校中の交通安全
- ・全国学力・学習状況調査の結果
- ・学校評価の結果
- ・サポート人材の発掘について



【 生徒企画のサミット後 】

■ 地域と学校が協働した活動（特徴的な活動）

- 1年：被服実習支援、着付け実習支援、書道実習支援、八幡FW支援
- 2年：水泳実習支援、職場体験、書道実習支援
- 3年：保育実習
- 全学年：八中サミット、図書館司書支援、美術部支援、下校時の見回り
- 太鼓部：地域行事での公演活動

■ 実施に当たっての工夫

- ・活動内容の見直しと、コミュニティ通貨アプリを使って新規登録者の開拓等を行った。
- ・持続可能な取組となるように、スクールサポーターの皆さんの都合が合うように活動時間を設定した。

■ 事業の成果

- ・例年同様に学校運営協議会にも八中サミットに参加していただき、アフターコロナの学校行事について地域・生徒・保護者・学校の四者が、学校の課題について熟議する機会となった。
- ・オリジナルゆるキャラ『でちくん』の着ぐるみの活用方法を地域の方との協働によって考えることができた。

■ 事業実施上の課題と今後の協働活動の工夫や展望

- ・スクールサポーターの高年齢化が進み、登録者が減少傾向にあることが課題である。保護者への積極的な募集や学区の小中学校のボランティアさんに中学校へも足を運んでいただく等の工夫を行い、登録者数のさらなる増加や小中連携の活性化につなげたい。
- ・ゆるキャラの活用方法に関しては、今後もより多くの地域の方に参画してもらえ活動を企画していきたい。



【 着付け教室の様子 】

■ その他（学校運営協議会との協働等）

- ・ホームページにて随時活動について公開しています。
- 右の二次元コードからご覧ください。



■ 協働活動推進員（コーディネーター）と協働する学校関係者（該当するすべてに■印）

校長 教頭 地域連携担当教職員 その他（ ）

報告書記入者（ 地域連携担当教職員 ）

～本を楽しむ環境づくり～

近江八幡市	活動名：八幡東中学校地域学校協働本部	八幡東中学校 学校運営協議会： <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
地域学校協働本部概要 ※実施した活動内容全てに■印 開始年度：平成28年度 地域学校協働活動推進員等数：1人 ボランティア登録数：20人 <input type="checkbox"/> 学習支援（授業補助、学力補充等） <input checked="" type="checkbox"/> 図書ボランティア（読書活動支援・図書室環境整備） <input checked="" type="checkbox"/> 学校行事支援 <input checked="" type="checkbox"/> 子どもの安全確保、見守り <input type="checkbox"/> 部活動支援 <input checked="" type="checkbox"/> 学校周辺環境整備 <input type="checkbox"/> 学びによるまちづくり <input type="checkbox"/> 地域人材育成（地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育） <input checked="" type="checkbox"/> 地域行事への参加 <input checked="" type="checkbox"/> ボランティア・体験活動 <input type="checkbox"/> 郷土学習 <input type="checkbox"/> その他 []		

■ 事業を考案する主体（該当するすべてに■印）

学校・園 学校運営協議会 地域学校協働活動推進員等 行政 その他（ ）

■ 学校運営協議会で熟議された内容（地域学校協働活動に関わる内容等）

- ・読み聞かせボランティアの活動について
- ・地域人材の発掘について



【 八幡東読書ボランティアによる読み聞かせ 】

■ 地域と学校が協働した活動（特徴的な活動）

- ・近江八幡市教育大綱にある読書活動の推進と読書環境の充実をめざす
- ・学校司書、地域コーディネーター、ボランティアなどが連携した活動
- ・図書ボランティアによる書架の整理や図書室内の飾りつけ、掲示物の作成、特設コーナーの設置、特別支援学級との交流
- ・八幡東読書ボランティアによる朝読書の時間の読み聞かせ

■ 実施に当たっての工夫

- ・八幡東読書ボランティアの読み聞かせでは、さまざまなジャンルの本を紹介し生徒の興味関心にあったものとなるようにした。
- ・学校行事や授業進度等を把握し、教員、学校司書、地域学校協働活動推進員、ボランティアが連携した特設コーナーを設置することで、生徒が来なくなる図書館運営を行った。
- ・生徒が主体となって図書館運営を行えるよう、生徒会図書委員会や放送委員会と連携し、ボランティアだけの活動とならないように配慮した。
- ・学校行事に対する学校支援ボランティアでは、事前に参加者を把握するとともに、教職員と協働して取り組めるようにした。

■ 事業の成果

- ・図書室の雰囲気が非常によくなり、生徒の来室者数は増えた。また、図書室の開館日の当番活動や本のPOPの製作など、さまざまな活動に意欲的に行えるようになった。
- ・図書室の充実に力を入れており、読書活動につながる取組を進めることで、落ち着いた学校づくりに結びついている。また、読み聞かせを行うことで、落ち着いた雰囲気で1日のスタートを切れている。
- ・さまざまなボランティア活動にかかわる方が地域の方であるため、生徒との結びつきもより強くなっていると感じる。
- ・ボランティア任せにならないよう、協働の視点を大切にして取り組み、教職員、生徒、地域の方に自分たちの学校という意識が芽生えてきたように感じる。



【 図書ボランティアによる掲示物 】

■ 事業実施上の課題と今後の協働活動の工夫や展望

- ・図書ボランティアや教職員だけの取組ではなく、地域学校協働活動がそれぞれをつなぎ、より組織的に図書館運営が行えるようになった。しかし、定着までは至っていないことから定着をめざすとともに図書館運営をより充実させたい。
- ・八幡東読書ボランティアや学校支援ボランティアの募集と充実

■ その他（学校運営協議会との協働等）

- ・開巻有益・・・読書はためになるということ。読書を奨励する語。「開巻」は書物を開く意。転じて読書。「有益」は役に立つこと。「八幡東中学校図書だより」のタイトル。

■ 協働活動推進員（コーディネーター）と協働する学校関係者（該当するすべてに■印）

校長 教頭 地域連携担当教職員 その他（ ）

報告書記入者（ 教頭 ）

地域とともに子供を育てる地域学校協働本部事業

近江八幡市	活動名：八幡西中学校地域学校協働本部	八幡西中学校 学校運営協議会： <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
地域学校協働本部概要 ※実施した活動内容全てに <input checked="" type="checkbox"/> 印 開始年度：平成21年度 地域学校協働活動推進員等数：1人 ボランティア登録数：30人 <input checked="" type="checkbox"/> 学習支援（授業補助、学力補充等） <input type="checkbox"/> 図書ボランティア（読書活動支援・図書室環境整備） <input checked="" type="checkbox"/> 学校行事支援 <input type="checkbox"/> 子どもの安全確保、見守り <input checked="" type="checkbox"/> 部活動支援 <input checked="" type="checkbox"/> 学校周辺環境整備 <input type="checkbox"/> 学びによるまちづくり <input checked="" type="checkbox"/> 地域人材育成（地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育） <input checked="" type="checkbox"/> 地域行事への参加 <input checked="" type="checkbox"/> ボランティア・体験活動 <input checked="" type="checkbox"/> 郷土学習 <input type="checkbox"/> その他 []		

■ 事業を考案する主体（該当するすべてに印）

学 校 学校運営協議会 地域学校協働活動推進員等 行 政 その他（ ）

■ 学校運営協議会で熟議された内容（地域学校協働活動に関わる内容等）

- ・2度目となる学校運営協議会において、生徒会役員と「地域と学校の協働活動について」というテーマで熟議を行った。協議会委員と生徒会役員が2班に分かれて意見を交流したなかで、生徒会・学校運営協議会共同事業として地域行事への参加を決定した。
- ・3度目の学校運営協議会において、生徒会・学校運営協議会共同事業の具体的な内容について熟議を行った。



【生徒会・学校運営協議会共同事業】

■ 地域と学校が協働した活動（特徴的な活動）

- ・本校は地域行事への生徒の参加を積極的に推進しているが、今年度は生徒会・学校運営協議会共同事業として生徒会役員と学校運営協議会が地元地域の文化祭（2カ所）に参加し、歌「花は咲く」を披露し、生徒会役員がボランティアとして運営に携わった。
- ・技術科の栽培分野の学習に桐原学区協働のまちづくり協議会の事業である「地域花いっぱい運動」の予算を活用し、プランターで花を育て、校区の幼稚園や小学校、コミュニティセンターや子どもセンターなどの施設へ届けることを行っている。
- ・キャリア教育（職場体験学習）において、地域学校協働活動推進員を含む学校運営協議会委員が積極的に受け入れ事業所の新規開拓を行った。
- ・部活動において、ソフトテニスや卓球、ラグビーなど数多くの部において、地域の方々からの支援を受けて活動する様子が見られた。



【地域の方との部活動交流】

■ 実施に当たっての工夫

- ・地域の文化祭で歌を披露するために、週1回ペースで練習を行った。その中で魅力あるステージにするための意見交流が生徒と協議会委員との間で活発になされた。

■ 事業の成果

- ・保護者や地域の学校への関心が高まり、理解と協力が増え、学校としての評価が高まった。
- ・生徒が地域で活躍する行事や機会を自治会や町づくり協議会で作っていただき、生徒が地域で活動することも増え、中学生の地域での活躍を評価して認めていただくことで自信を持つことができた。

■ 事業実施上の課題と今後の協働活動の工夫や展望

- ・学校の教育活動に関心を寄せている方はたくさんおられる。しかし、それを活かすためには、登録制にするなど、常に連絡を取れる状態にしておく必要がある。
- ・事業を実施するに当たり、教職員が地域に出向いて活動することが必要である。より活動の質を高めるためには、勤務時間外の平日夜間や休日に活動することが求められる。振替等を用いて多くの教職員が地域とかかわれる時間を生み出すことが今後の課題である。

■ その他（学校運営協議会との協働等）

- ・推進員が学校運営協議会の副会長として活動しておられるので、積極的に橋渡しを行っていただいている。

■ 協働活動推進員（コーディネーター）と協働する学校関係者（該当するすべてに印）

校 長 教 頭 地域連携担当教職員 その他（ 主幹教諭 ）

報告書記入者（ 教頭 ）

ふるさとに愛着と誇りを ～地域の人材を活用したふるさと学習の推進～

近江八幡市	活動名：安土中学校地域学校協働本部	安土中学校 学校運営協議会： <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
地域学校協働本部概要 ※実施した活動内容全てに■印 開始年度：平成23年度 地域学校協働活動推進員等数：1人 ボランティア登録数：50人 <input type="checkbox"/> 学習支援（授業補助、学力補充等） <input checked="" type="checkbox"/> 図書ボランティア（読書活動支援・図書室環境整備） <input checked="" type="checkbox"/> 学校行事支援 <input type="checkbox"/> 子どもの安全確保、見守り <input checked="" type="checkbox"/> 部活動支援 <input checked="" type="checkbox"/> 学校周辺環境整備 <input type="checkbox"/> 学びによるまちづくり <input checked="" type="checkbox"/> 地域人材育成（地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育） <input checked="" type="checkbox"/> 地域行事への参加 <input checked="" type="checkbox"/> ボランティア・体験活動 <input checked="" type="checkbox"/> 郷土学習 <input type="checkbox"/> その他 []		

■ 事業を考案する主体（該当するすべてに■印）

学校・園 学校運営協議会 地域学校協働活動推進員等 行政 その他（ ）

■ 学校運営協議会で熟議された内容（地域学校協働活動に関わる内容等）

学校の運営方針について 生徒の学校生活等の様子について 通学路について
 校内研究を含めた生徒の学力向上について ふるさと学習の推進について 制服について

■ 地域と学校が協働した活動（特徴的な活動）

(1) 地域との協働活動・環境ボランティア

環境ボランティアと中学校PTAが協働で、中庭の植え込みの剪定等の環境整備を行った。また、環境ボランティアと環境委員の生徒が協働でアジサイの剪定を一緒に行った。

生徒会環境委員は、安土学区少年補導委員と学校のアプローチ道にパンジーの苗やチューリップの球根を植える環境整備を行った。

(2) 地域行事への中学生の参画

中学生を地域の行事（体育大会、文化祭、信長まつり、福祉のつどい等）に参画させることで、地域の一員としての自覚を持ち、ふるさとを愛する心を育てる。地域としても、行事に参加することで関心を持ってもらい、活性化させる。

(3) 茶道体験学習

安土において織田信長が盛んにしたと言われる茶道について、地域の茶道の先生を招き、茶室や和室を会場として1年生で全員が茶道を体験する。茶道のお手前だけでなく、その歴史と精神にも触れてお話を聞く。

(4) 浴衣の着付け、地元食材を活かした調理実習

家庭科の授業で、地域の方をコーディネートし、指導していただく。

(5) 読み聞かせ、図書館ボランティア

地域の読み聞かせボランティアに朝の会で読み聞かせをしてもらう。また、民生児童委員会を中心とした図書館ボランティアとして昼休みの図書室の開館をお願いし、毎日図書室を開館するとともに、地域の方と中学生が接する機会とする。



【 アジサイ剪定作業の様子 】



【 1年生茶道教室の様子 】

■ 実施に当たっての工夫

- ・ 学校と地域のニーズを結びつけることを地域学校協働活動推進員と連携して考え、具体化するようになっている。
- ・ 学校の教育課程に「ふるさと教育」として年間計画に位置づけて取組を行ってきた。

■ 事業の成果

- ・ 地域の方に得意分野を活かした活動内容（環境整備や図書館ボランティア等）で参画してもらい、教育活動が深まった。
- ・ 中学生の活動を地域に発信・紹介することで、地域から評価を受け、活動の場が広がってきた。

■ 事業実施上の課題と今後の協働活動の工夫や展望

- ・ 地域ボランティアのスタッフを充実させるように図る。
- ・ 地域のニーズと学校のニーズの重なりを検討する。

■ その他（学校運営協議会との協働等）

- ・ 学校づくりに関して、生徒代表者数名と学校運営協議会委員との間で意見交流会を実施
- ・ 安土中学校HP <https://www.fureai-cloud.jp/azuchi-jh>

■ 協働活動推進員（コーディネーター）と協働する学校関係者（該当するすべてに■印）

校長 教頭 地域連携担当教職員 その他（ ）

報告書記入者（教頭）